

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年8月14日

【四半期会計期間】 第41期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 ダイコク電機株式会社

【英訳名】 DAIKOKU DENKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栢 森 秀 行

【本店の所在の場所】 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

【電話番号】 (052)581-7111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経営本部 管理統括部 部長 丹 羽 時 重

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

【電話番号】 (052)581-7111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経営本部 管理統括部 部長 丹 羽 時 重

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第1四半期 連結累計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	13,497,354	11,340,028	58,861,741
経常利益 (千円)	2,121,917	1,357,322	7,244,284
四半期(当期)純利益 (千円)	1,254,352	792,338	4,161,972
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,257,206	792,660	4,167,043
純資産額 (千円)	27,891,187	30,197,155	30,439,333
総資産額 (千円)	51,028,756	47,597,066	56,706,595
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	84.85	53.60	281.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.5	63.4	53.7

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

オムロンアミューズメント株式会社OAM特約店基本契約

契約会社	相手方の名称	契約内容	契約期間
ダイコク電機株式会社 (当社)	オムロンアミューズメント株式会社	パチンコ遊技機の構成部品 (ソレノイド、センサ等) に関する販売特約店契約	平成18年4月1日から 平成26年3月31日まで  (期間満了の1カ月前までに 両社いずれからも何等の申し 入れもない場合は、さらに1年 間自動的に延長されるものと し、以後も同様となっております。)

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和策等による景気回復への期待感から円安・株高が進行し、輸出環境の改善等を背景に、景気は着実に持ち直しつつあります。

当社グループが携わる余暇産業であるパチンコ業界におきましては、まだ波及効果は出てきておらず、パチンコ遊技機では、依然として4円貸しパチンコの稼動が低下しており、顧客であるパチンコホールでは、厳しい状況が続いております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ホールコンピュータ「C」との連動による機能面等が強化されたCRユニット「VEGASIA」の販売強化に努めました。制御システム事業におきましては、グループ会社との混成開発ラインの構築等で融合をはかり開発ラインの増強に努めるなど企画開発力強化に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高113億40百万円（前年同四半期比16.0%減）、営業利益13億15百万円（同35.3%減）、経常利益13億57百万円（同36.0%減）、四半期純利益7億92百万円（同36.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、セキュリティや効率的な運用を評価されたCRユニット「VEGASIA」が好調に推移し、コンテンツ強化により多様なゲーム性をファンにわかりやすく伝える情報公開機器「BIGMO」や多彩なイルミネーションの呼出ランプ「IL-X」が引き続き評価されましたが、新製品リリースにより大きく売上を伸ばした昨年実績には及びませんでした。

この結果、当事業の売上高は71億61百万円（前年同四半期比22.2%減）、セグメント利益は13億87百万円（同40.3%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、開発ラインの増強に努めるなど企画開発力強化に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は41億78百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は4億円（同64.6%増）となりました。

（注）セグメントの業績の金額は、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、納税や仕入債務及び配当金の支払により現金預金が減少したこと、前連結会計年度に回収した受取手形が、当第1四半期連結会計期間において満期日を迎えたことにより減少したこと、及び減価償却費の計上による固定資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ91億9百万円減少の475億97百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度に振出した支払手形が、当第1四半期連結会計期間において決済されたことにより減少したこと、納税に伴う未払法人税等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ88億67百万円減少の173億99百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払による利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2億42百万円減少の301億97百万円となり、自己資本比率は63.4%（前連結会計年度末比9.7ポイント上昇）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億66百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,747,000
計	66,747,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,783,900	14,783,900	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数は、 100株であります。
計	14,783,900	14,783,900		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 ～平成25年6月30日	-	14,783,900	-	674,000	-	680,008

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,780,800	147,808	-
単元未満株式	普通株式 2,700	-	-
発行済株式総数	14,783,900	-	-
総株主の議決権	-	147,808	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式88株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイコク電機株式会社	名古屋市中村区那古野一丁目 43番5号	400	-	400	0.0
計	-	400	-	400	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,506,088	13,227,053
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 11,538,600	<sup>2</sup> 9,191,294
商品及び製品	5,670,199	5,589,338
仕掛品	126,550	81,068
原材料及び貯蔵品	2,851,110	2,302,129
繰延税金資産	487,980	246,410
その他	676,944	604,772
貸倒引当金	67,660	57,111
流動資産合計	39,789,814	31,184,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,316,498	4,260,941
土地	4,220,795	4,220,795
その他(純額)	969,029	954,302
有形固定資産合計	9,506,323	9,436,040
無形固定資産		
ソフトウェア	1,617,077	1,476,164
その他	135,762	130,392
無形固定資産合計	1,752,839	1,606,557
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,464,963	2,260,283
投資不動産(純額)	971,415	967,929
長期預金	600,000	500,000
その他	1,874,733	1,888,611
貸倒引当金	253,494	247,312
投資その他の資産合計	5,657,618	5,369,512
固定資産合計	16,916,781	16,412,109
資産合計	56,706,595	47,597,066



	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2 18,137,268	2 12,356,183
1年内返済予定の長期借入金	399,866	491,533
未払法人税等	2,731,980	125,327
役員賞与引当金	178,884	71,535
その他	3,096,633	2,795,102
流動負債合計	24,544,634	15,839,681
<b>固定負債</b>		
長期借入金	870,133	700,166
退職給付引当金	248,091	248,685
役員退職慰労引当金	370,617	378,477
その他	233,784	232,899
固定負債合計	1,722,627	1,560,229
負債合計	26,267,261	17,399,910
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,079,569	28,837,069
自己株式	945	945
株主資本合計	30,432,632	30,190,132
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	6,701	7,023
その他の包括利益累計額合計	6,701	7,023
純資産合計	30,439,333	30,197,155
負債純資産合計	56,706,595	47,597,066

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,497,354	11,340,028
売上原価	8,860,020	7,598,059
売上総利益	4,637,334	3,741,968
延払販売未実現利益戻入	4,251	6,308
延払販売未実現利益控除	-	-
差引売上総利益	4,641,585	3,748,277
販売費及び一般管理費	2,608,789	2,432,368
営業利益	2,032,795	1,315,908
営業外収益		
受取利息	1,990	1,311
受取配当金	6,034	5,984
不動産賃貸料	18,247	18,045
その他	85,032	27,384
営業外収益合計	111,305	52,726
営業外費用		
支払利息	9,588	1,776
不動産賃貸費用	12,549	9,056
その他	45	478
営業外費用合計	22,183	11,312
経常利益	2,121,917	1,357,322
特別利益		
関係会社株式売却益	6,753	-
特別利益合計	6,753	-
特別損失		
固定資産除却損	792	202
会員権売却損	1,819	-
特別損失合計	2,612	202
税金等調整前四半期純利益	2,126,058	1,357,119
法人税、住民税及び事業税	1,004,461	118,706
法人税等調整額	136,068	446,074
法人税等合計	868,392	564,781
少数株主損益調整前四半期純利益	1,257,666	792,338
少数株主利益	3,313	-
四半期純利益	1,254,352	792,338

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,257,666	792,338
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	460	321
その他の包括利益合計	460	321
四半期包括利益	1,257,206	792,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,253,892	792,660
少数株主に係る四半期包括利益	3,313	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結財務諸表提出会社は、リースにより製品を販売する顧客のリース契約に関して、一部買取保証を行っております。その保証額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
リース買取保証額	32,681千円	24,113千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	993,517千円	887,615千円
支払手形	821,975千円	94,726千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	382,225千円	375,840千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	443,506	30	平成24年3月31日	平成24年6月13日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	1,034,838	70	平成25年3月31日	平成25年6月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,202,407	4,294,946	13,497,354	-	13,497,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,732	612	4,344	4,344	-
計	9,206,139	4,295,558	13,501,698	4,344	13,497,354
セグメント利益	2,323,728	243,576	2,567,304	534,509	2,032,795

(注) 1 セグメント利益の調整額 534,509千円には、セグメント間取引消去 4,014千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 530,494千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,161,693	4,178,335	11,340,028	-	11,340,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,161,693	4,178,335	11,340,028	-	11,340,028
セグメント利益	1,387,944	400,884	1,788,829	472,920	1,315,908

(注) 1 セグメント利益の調整額 472,920千円には、セグメント間取引消去693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 473,614千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	84.85円	53.60円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	1,254,352	792,338
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	1,254,352	792,338
普通株式の期中平均株式数 (千株)	14,783	14,783

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年5月13日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	1,034百万円
1株当たりの金額	70円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年6月12日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

ダイコク電機株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柏 木 勝 広 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 崎 勝 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイコク電機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイコク電機株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。